

全ト協発第160号(環)
平成28年6月29日

各都道府県トラック協会会長 殿

公益社団法人 全日本トラック協会
会長 星野良三



トレーラ火災の未然防止に関する注意事項の周知について（協力依頼）

平素は当協会の業務運営に種々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、国土交通省自動車局より別添の通りトレーラ火災は、そのほとんどがブレーキに関するものであり、3年間で82件ものブレーキ引き摺りによる火災が報告されているため、火災を未然に防止するための注意事項がまとめられ、注意喚起を行うよう協力依頼がありました。また、これをもとにドライバーと整備担当者のための啓発ビデオが公開されました。

つきましては、貴協会におかれましても本趣旨をご理解のうえ、傘下の会員事業者に対する周知徹底方をお願い申し上げます。

(参考)

○国土交通省自動車局審査・リコール課Youtube 公式アカウント

<https://www.youtube.com/channel/UCwFJ6KstdbqM9P918281u2g>

○トレーラのブレーキ引き摺りによる火災にご注意！

(自動車のリコール・不具合情報ウェブサイト内)

http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/carsafety_sub/carsafety020.html

○本件につきましては、全ト協HPにもリンク掲載しています。

○「広報とらっく」7月1日号に関連記事掲載予定です。

(本件に関する問い合わせ先)

公益社団法人 全日本トラック協会 * 交通・環境部 荻原

電話：03-3354-1045 FAX：03-3354-1019

国自審第509号
国自安第53号
国自整第73号
平成28年6月23日

公益社団法人 全日本トラック協会 会長 殿

国土交通省自動車局

審査・リコール課長

安全政策課長

整備課長

トレーラ火災の未然防止に関する注意事項の周知について

トレーラが路上で火災となった際には、命の危険だけではなく、物流の停滞など社会インフラに大きな影響を与えます。トレーラの火災は、そのほとんどがブレーキに関するものであり、3年間で82件ものブレーキ引き摺りによる火災が報告されているため、国土交通省では、検証実験を行うとともに、火災を未然に防止するための注意事項をまとめました。

また、これをもとに、ドライバーと整備担当者のための啓発ビデオを制作し、公開しました。

貴会においても本趣旨をご理解いただき、傘下の会員に対して下記事項を周知いただき、注意喚起にご協力いただきますようお願いいたします。

記

1. トレーラ火災の未然防止に関する注意事項について

- ① 日常点検を確実に行うこと。特に、スプリング・ブレーキ・チャンバの不良(エア漏れ、戻り不良、内部のスプリングの錆や損傷)及びリレー・エマージェンシ・バルブの不良(ゴミや冬期における水分の凍結等でバルブが詰まることによるピストンの固着)に注意すること。
- ② 劣化するゴム部品等の定期交換を行うなど、トレーラ製作者の整備要領等に従って、点検整備を確実に行うこと。
- ③ 運行する前には駐車ブレーキが確実に解除されていることを確認すること。

※ トレーラのブレーキの引き摺りは、運転中に感知することが困難であることから、火災の未然防止が重要です。

※ 万が一、火災が発生してしまった際には、速やかに路肩などに停車し、安全な場所に待避の上、被害を最小限とするように努めて下さい。走行中火の手が見えなくても、停車後すぐに発火することがあり、発火した場合には、速やかに消防機関にご連絡ください。

2. 啓発ビデオの公開ページについて

次のリンク先において、啓発ビデオを公開しておりますので、ご活用ください。

- 国土交通省自動車局審査・リコール課 Youtube 公式アカウント
<https://www.youtube.com/channel/UCwFJ6KstdbqM9P91828lu2g>

3. 注意喚起の掲載ページについて

次のリンク先において、注意喚起を掲載しておりますので、お知らせいたします。

- トレーラのブレーキ引き摺りによる火災にご注意！（自動車のリコール・不具合情報ウェブサイト内）
http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/carsafety_sub/carsafety020.html